

シミズ生物多様性ガイドライン

基本理念

人類は、地球が数十億年かけて作りあげてきた生物多様性の恩恵に支えられている。その保全は、地球温暖化対策と並んで、企業に課せられた今世紀の命題である。

清水建設は、生物多様性が持続可能な社会活動の基盤であることを認識し、環境経営の重要課題として、生物多様性に取り組む。自然への敬意とグローバルな視点をもって行動し、建設活動を通じて、優れた環境を創出する。

ここに、ガイドラインを定め、人と自然との共生を志し、生物多様性による恩恵と文化的価値を次世代に引き継ぎ、持続可能な社会の実現に貢献する。

ガイドライン

1. 取り組み姿勢

生物多様性を環境マネジメント上の重要な課題と位置づけ、すべての事業領域で生物多様性の保全と共生に自発的に取り組み、必要な見直しを行い改善に努める。

2. 建設活動での取り組み

- ① 建設地を含む地域の環境を把握し、生物多様性の保全と共生に配慮した設計及び工事計画を行う。
- ② 工事中の大気・水・土壌等への影響を把握し、生物多様性に新たな影響が懸念される場合は、回避・低減に努める。
- ③ グリーン調達ガイドラインに基づき、生物多様性に配慮した調達に努める。
- ④ 顧客、行政、地域社会、NPO/NGO、研究機関、企業などと連携・協力し、建設による生物多様性に関する影響の未然防止や保全、持続可能な利用に向けた活動に取り組む。

3. コンプライアンス

高い企業倫理観に基づき、生物多様性にかかわる法令、地域の要求などを順守する。

4. 教育

清水建設及びグループ会社の役員・従業員、協力会社に対し、生物多様性にかかわる必要な知識・法令・技術などの教育を行い、理解を深める。

5. 情報公開

コーポレートレポートやホームページなどにより、生物多様性にかかわる情報開示を行う。

6. 研究開発

生物多様性にかかわる研究開発に取り組む、その成果を社会に還元する。

7. 社会貢献

生物多様性にかかわる社外の活動へ参加し協力するとともに、青少年に対する教育の場を提供する。

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設